日刊　昭和25年10月5日　「除月曜」第三種郵便物認可　運輸省特別扱承認第684号
磐城日日
昭和28年　1953年　9月18日　金曜日　第935号

磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚通51
電話代表387番
編集兼発行人　長瀬壽一

導流提撤去要望
出來なければ代る施策を
小名経済水対合同委

"既報"小名浜町水害對策委員会、町議會経済委員會の合同委員会は十七日午前九時より公民館で本間で開かれた

先ず齋藤水害対策委員長から過般の委員會に於ける經過が報告され、比佐經濟委員長を議長に議事を進めた

問題の導流堤については水害對策委員会側は過般の決議通り強硬に撤去を主張したが、町及び經濟委員会は学術的にも考慮の余地も認められるので撤去を主張するが若し出來なければそれに代るべく、川口の砂堤を完全なものに築堤して流排水の支障を除去するよう要望する

また川床の低下は九月縣会に於て千二百万の起債によつて工事を施工する模様であるが一層これの實現を要望する

排水ポンプの問題は現在平の土地改良事務所で調査研究中であるからとの完了をまつて實現を期する

その他、排水溝の完備、流下炭泥の防止などを縣に對し今期縣会前に強力に陳情し、その後に於ても一致して機を選び初期の目的達成に陳情運動を展開することに意見が一致した

また水害にからんで憂慮されている冷害についても経済委員会、水害對策委員會が一致協力して對策に當ることなどを決議して散会した

導流堤問題、川床低下工事などについては近日中に出縣陳情を行う模様である

目クスリなら
佐藤のホミカコート
長生堂薬局
小名浜中島　電三七〇

丸江労組 一本化成る
新組合長に柳内氏

一つの職場に二つの労組と労働意識の新舊對立に世相を反映して微妙な動きを續けて注目を集めて來た小名浜町隼人、丸江運送会社（専務髙橋幹夫氏）の新舊兩勞組はその後合流一本化の動きを示めして來たが十六日午後一時から小名浜第二小学校講堂に組合大会を開き懸案の一本化に成功した

丸江運送労組は今春、臨時工の常傭問題を糸口に前組合の方向にあきたらぬ一部が脱退、臨時工をも含めて新組合を結成して以来、微妙な感情のもつれもあつて対立を續けて來たものであるが、先きの臨時工の常傭、賃上斗争、今回の夏季手当斗争を通じての不利に鑑みまた同一職場にある勞仂者同志の友誼としても当然一本化すべきであると云う意見に一致し、その後両組合から準備委員各二名をあげて交渉を進めて來たものである

大會は兩組合員百八十余名出席して花内義次、石戸政雄両氏を議長に両組合を發展的に解散し、新らたに組合を結成するとを宣言、鈴木水素勞組長以下水素勞協傘下の各組合から祝辞が寄せられ規約を審議し、役員選出を行つて八時散会した

新役員は次の通り

▼組合長＝柳内方正
▼副組合長＝橋本祐一、
▼書記長＝國井喜久

"大柳談はデマ"
組合側責任者の辯

小名浜自由勞組は去る十四日臨時組合大会に於て突然解散を宣言したことは本紙既報の通りであるが、解散反対者側と見られる大柳忠治郎氏の談話に對して旧組合員中には事実と離反した、まつたくの虚偽の辯であるとして大柳氏談話の取消しを叫んでいるが、これに対し組合側では十七日次の様な談話を發表、所謂大柳談話に抗議をなして注視されている

大柳忠治郎氏談に小名浜自由勞働組合解散の動議は組合内部にスツキリしないところがあるから報告して欲しいと云う要望に對しその責任者に於ては事務多忙だから不可能だと云う辯であつたので、然らば辭めろと云つた所突然解散を宣したとあるが、大柳氏の辯は全然事實に離反した虚偽であつて、当方では先方の要望に對し懇ろに收支決算報告をして、一同諒とじたところで最後の動議の時に現役員辭任せよとの無謀な発言があつたので、会議の根本の目的が他にあることを容易に察知されたので解散提案をなし大多数の承認のもとに解散をしたまでであつて、大柳氏の云わんとするところが譯らぬ

吾々は事實に對してあくまでも忠実であれと力說したい

斬捨て御免
政治と秘密の悪因縁
―工場誘致の場合―
醉狂童子

政治の秘密性!!

これは單に一町村の政治のみならず大きな問題である

戰後民主々義の華やかなる流行と共に政治家の口に膾炙された言葉に「ガラス張りの政治」と云うのがある

この言葉の創始者は吉田首相と記憶しているがその吉田が秘密獨善外交政治家の問屋の様なカッコウである

と云う事は政治と秘密は不可分の肉親的兄弟であるらしい

一國の政治は兎にも角「知らしむべし、寄らしむべし」と德川家康の逆を宣言している水野小名浜町政にも秘密政治のそしりまぬがれざるものあるも蓋し無理なしと云う所であろうか

しかし選擧民は正直であり政治家の公約は額面通り受け取りそれを頭から信じているのである

―尤もこれなればこそ政治家にはだまし易いのか知れない―

これは一人小名浜町政のみに止まらず吾輩の知る限りに於ては何處も同じ秋の夕暮れである

地方公共團体の共通する秘密政治の筆頭に工場誘致政策がある

工場誘致の實態を知る者は表面、それに直接たずさわつている若干の要人より知る他に機会を與えられていない

ひどい事になると市町村民の代表として議政に参與している議員すら知らしめられずに放置されているのである

現在、町村民の尤も知りたいと欲する町政の現実はいろ／＼な意味に於て工場誘致問題であろう、それは就職と云う生命線に直結するからである

しかしながら町村民の大々部分の者は少くともとの問題に關する限り聾啞敷におかれざるを得ない

当局者の辯によると工場誘致に秘密を守る事は会社に対する信義であるそうな

その理由は一つの会社が新企画を計画すると必ず他の会社から妨害を受ける　また工場誘致が知れると該当地所の地價が暴騰し、敷地買収に非常な困難を来たす

と云うのである

実に馬鹿々々しいと云うより他にない、同係の競争会社同志にあつては相互の利害關係からその種の妨害は考えられない事もない

然し、それなればこそ工場を新設せんとする段階迄に至つて全然知らずに居る筈もなく、かゝる段階に至つて迄秘密々々と仰々しくさわぎたてる理由を知らない

また敷地の謄貴であるが直接その衝に當る者以外知るべき筈のない事実を尤も早く知る者は地主―世に謂う悪徳利權屋―であると云う事からして第二の理由もまた理由とならないのである

……續く……

天氣豫報 18

（本日）北東の風、曇り時々晴れの天氣
（海上）穏かです

魚菜市況 17

（小名濱中央青果市場）
卵一二～一三、九人蔘八〇～一五〇なす五〇～七五甘藷二〇～八八きうり二二～四〇なた豆五二～七〇葉生姜八〇～九五大根三五～四五里いも七〇～一〇〇ねぎ一〇〇～一一六梨九〇～二五〇馬鈴薯四五～五〇切いも一七〇～二〇〇玉ねぎ三〇～六六りんご一二〇～二六〇牛蒡八一～一〇〇

（魚市場）
えび八五〇～一三五〇ぎす二〇〇のどぐろ四五〇いか一一〇たこ一三〇くずえび四八〇小えび八五〇さんま八三～一四五

雑誌・機關紙
チラシ
事務用印刷物
長瀬印刷所
TEL 219・387

上映中
19日まで
子は誰のもの
花嫁の性典
金美館

輪界ノ名門　第一位通産大臣賞受領
マグネット号自轉車
代理店
强力トヨモーター及び各種モーター取扱店
高橋自転車店
小名浜町横町（マスガタ）

印刷
御用命ハ
電219

絶好の撮影シーズン來る
カメラを肩に海に山に!!
カメラ
寫眞材料
現燒、引伸
伊勢丹カメラ店
小名浜町古港三
電話四〇四番

印刷なら……小名濱のナガセに

小泉屋 NO,1 ニュース
徴税に備えて!!
國税廳検定
標準簡易帳簿
現金出納簿　経費簿
賣掛簿　買掛簿
以上四冊一組
説明書付
青色申告用
小名浜町本町　電話122番

醫療法人 松村病院
外科　整形外科　性病科
内科　胃腸科　呼吸器科
婦人科
レントゲン放射線科
歯科
臨床検査部
薬局

院長	松村亨
主任	田辺勇成
醫員	高野節哉
主任	岸本隆夫
醫員	小野實
主任	松村亨
技師	新妻春治
助手	草野政雄
主任	松村政次
技工部	吉田吉之助
主任	岸本隆夫
助手	志賀道男
薬剤師	菊池政次

本院　平市南町三（電一〇七）
第二病室　平市小太郎町一八（電一六九六）
★看護婦募集

秋　天高く希望も實る
内容を一新して皆様におくる
第20回東邦賓定期
東邦賞　30萬圓

東邦賞	300,000円	1本
特賞	100,000円	9本
壹等	10,000円	90本
貮等	1,000円	200本
参等	500円	5,000本
四等	50円	10,000本
五等	15円	100,000本

割増金
取扱期間　十一月三十日マデ
抽せん日　十二月五日
割増金支払　十二月十四日ヨリ
みなさまの金庫
東邦銀行

インサツは……ナガセ

堅実本位の日本建物
建築の福音!!
月掛て家が建つ
家が月掛で抽籤も入札も無く早く申込めば早く建つ東北一の月賦建築住宅は基より店舗工場増築改装修理一切大小に拘わらず賣貸地相談にも御利用下さい
御結婚にはぜひ月払証券御持参で!!
御申込み次第営業案内御送り致ます!!
平市大町三番地（電五八〇）
建設大臣登録（ロ）第九六二号
日本建物KK平營業所
所長　大樂弘
本社　仙台市
管内出張所
湯本町三函一五〇　電話三〇三・一三一番
小名浜町下町一八
植田町字本町　電話六二番
専屬工事人・連絡所
小名浜町上町五六
小名浜土木株式会社
一級建築士　坂本二郎

募集
外務社員数名
年令30才以上（男女可）
本人履歴書営業所宛郵送下さい

第三種郵便物認可　　購讀料一ヵ月80円　一部賣3円

磐城日日

昭和28年（1953年）9月18日（金曜日）　第935號

尾黄色の性態？

水試でサンマ陸上調査

サンマの盛漁期を迎えた縣水産試驗場ではこの操業期間中「二十八年度サンマ陸上調査」を行うべく調査班を組織し、指導船磐城丸の海洋調査とタイアップしてサンマ魚の性態調査を徹底的に行うことになつた

この陸上調査の特色は、まず廻游の実態を把握し例年度のそれと比較検討するもので最多獲日における漁場の位置、漁法、水温、操業時刻、操業回數、平均体長、魚体の種類、群の濃淡、他魚種の混成、尾黄色サンマの有無などの調査を基本に、▼漁船装備と操業実績の関係▼尾黄色サンマの性態を科学的に調査しそれと一般魚との相違点▼魚價とそれに關連する諸問題の解明で尾黄色はサンマ魚だけでなく、これの實態の糺明は水産界の宿願として研究されて来たが、未だその結果は明らかにされておらないもので、この尾黄色サンマが混入していることによつて、漁師間には直接大漁不漁に結びつけて考える風習となつている

試驗場では本調査を機會に尾黄色の発見位置、その漁況、水温及び灯付の良否を調査する

また漁船の装備と漁獲を結び付けて詳細に亘る調査も行うほか尾黄色サンマと一般魚の性態より来る浜相場の開き、船型別による漁獲數と金額の調査、室内調査としては、▼一般魚体調査、雌雄別の体長、体重▼卵巣の重量、などの調査をサンマ操業中にまとめてその結果を今年中に發表することになつている、この調査はサンマ魚について今日まで明らかにされていない種々の面が糺明されることになり、サンマ漁業によつて大部分の生計を樹てている漁業家としてはまさに干天の慈雨にも勝るものであり、その發表が斯界から注視されている

「資源は多い　灯付き不良」

磐城丸のサンマ漁況

縣指導船磐城丸は去る七日サンマ漁況の調査に小名浜港を出發して北海道沖から岩手縣沖の擴大なる海洋を調査していたが十五日鹽釜港に寄港、同乘していた縣水産試驗場漁撈部大坪主任技師は十六日歸場した

全技師は漁況について「昨年と比較して資源は多いが灯付きは悪い」と次のように語った

サンマの主漁場は岩手縣トド崎沖北東八十から百二十浬にかけて相當の操業船が見られるこの附近には十七度から十九度台の水帯が二十度台の暖水帯にさえぎられて寒流の南下がとゝで停滞させられている

解禁の第一夜、第二夜は漁獲が少なかつたようだ、最近になつて漁況も活氣が見え始め、水温十八度から十九度台に大、中、小の濃群が相当見られ、各船共五千貫から一万貫と滿船に近い漁をしている操業中昨年と比較して見ると資源は多いくらいだ、また灯付は最初は悪かつた、特に高温水帯に漁獲があつた、

解禁當初の体長に小型が多かつたが、最近に至り三年魚が見られる灯付きの悪いのは寒流水帯が底流しており從つて群も表面に表れぬためだと想像する、この附近の水深を調査したが、それによると水深二十五米で十一度から十二度、五十米で三度から四度台であつた

サンマ五千貫水揚

サンマ漁は解禁二、三日は余り振わなかつたが、最近愈々軌道に乗り、十五日夕刻から十六日にかけて五万貫と云う解禁日以來の大漁を示して浜はニワカに活氣を呈した十七日朝は千葉縣銚子港の廻船第五松勢丸が五千貫を水揚した貫当りの浜相場は百二十円であつた

この漁は岩手縣トド崎沖の北東七〇マイル附近で獲れたもので主漁場も全地点で相当数の操業船が見られており、各船とも滿船に近い漁をしており二、三日後には各港は大漁で相当の賑わいを予想されている

家庭經濟

人造米御目見得

味質は自然米に遜色なし

明治三十年來の大凶作として七割の減收が報ぜられ、巷間には既にヤミ米一升が百七十円の聲を聞いて明日の食糧に戰々競々としている小名浜に人造米が姿を見せて人々に一寸安堵の胸をさすらせている

農林省でもこの異例の大凶作にそなえて人造米に本腰を入れて年間二百万石の製造計画を発表しているが、年々平年作でも七百万石の食糧を不足すると云う日本經濟ではまさに本年のような大凶作を傳えられるに至つては二百万石の数字は燒石に水の感はあるが、人々には大きな安心感を與えていることは事實である

この松浦式特許によつて製造された人造米は一見馬鈴薯の様な薄黄色で型体は自然米と同じような粒子である

精分は澱粉、クズ米、小麦粉などから出來ており榮養價は自然米より高いと呼稱されている

炊き方は自然米と変らず唯水ヒキが自然米より少いため水加減は少なめにまた水にひたしておくと水分をすいすぎるので洗いたてを煮る位の差で自然米と同様の味で食べることが出来る

値段は一升百二十円

今年末には大量入荷か

流行にさきがけてイカモの食いの試食家の話しによれば自然米四割程度の混合ならば全然味に變りなく、外米のように冷えたら不味くなるようなこともないと太鼓判をおしている

値段も押し麦の五十二圓に比して百二十円は一寸高い様にも感じられるが味、量から見て經濟的であり　まだ一般に充分消費される程の量は生産されていないが近い將來に今年の凶作などから人造米時代が招來されるのではないかと早くも町内の米屋さんは各所の製造工場に紹介を殺到させており　今年末には現在の試食程度から大量入荷があるのではなかと業者は語つている

平で夜間營業を續行

平商工会議所では市内の一、二、三丁目商店會を始め中央、銀座通りなどの商店会と協議、夏場の夜間営業を行つて來たが賣行きもよく、一般市民の間に好評であるので夜間営業を續けることになつた

消息

保安廳伊藤氏　十七日來浜

海上保安廳廣報室々長補佐伊藤一夫氏は十七日小名浜海上保安部を訪れ内火艇「きぎく」に乗つて灣内を視察して歸廳した　全氏の來浜の目的は廣報關係で、小名浜海上保安部と附近の情勢視察が主である

診斷

小林松頼

そんな日　太陽は動かない
倦怠と疲勞につゝまれた樹木は
激しく神經衰弱の蟬を鳴かせる
から〳〵にひからびた新聞用紙が舞い
馬ふんは白いほこりとなつて
歪曲する田舎道は
やがて深い病院の森につきあたる
「詩を書くのをやめなさい」
重い醫師の診斷に
今日も繰返えす否定は
悲しい自嘲の性格ではない
書いてきた長い歳月
何を喜び、求め、苦しみ、書いて來たのか
今は宿命となつた詩道に
短かい僕の一生ははや暮れんとするのか
「やめられません」
あゝ
力強い叫びにも似た生命の躍動よ
生きて來た齡の中に
生きていく齡の中に
「やめられません」
再びは叫ぶ詩人の
鋭い叫びを聞こう

無題

素足の風に
花びらの散る日
猫柳のような生やさしさの中に
私は甘い夢を返えり見ていた
純らかな瞳の
此の世になくなつてより
逆明な陽光にも歌わなくなつて
しまつた己が
胸をかきむしりたい程いじらしい
「弱くなつたなアー」
希望を失つた身のはかなさを
しみ〴〵と見つめながら
私は
沓い旅路へ執着していた

クローバー印
硫安
日本水素

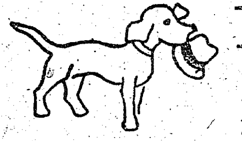
品質本位、新柄の店
樋口呉服店
小名浜町　電三〇四

開店
洋品、化粧品、文房具
食料品、雑貨類
サービス本位の店!!
何卒多少に拘らず御用命御引立の程を
お願い致します
小名浜町定西二〇六
きんにむ商店
長　長瀬誠明
電話二四五番
長瀬印刷　八間道路　至水素　きんにむ商店

平マーケット　サービス券
50圓（本券切り抜きいつでも御利用下さい）
現金300圓以上御買上に50圓として通用
皆様の店　平マーケット　電297

洋服の店
都服装店
小名浜町　電五五一

味　色香でこのうまさ
緑
小名浜町　電29
緑屋醤油醸造場
志賀要平



チケット歡迎
皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前　電二九七
お買物には先づ平マーケットを思出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています
スポーツシーズン
野球帽ユニホームグロブ
男女学童用運動着運動靴
旅行セツトボストン手提
レインコート雨靴、洋傘
男女子供服と婦セーター
毛糸カネボー群羊各色揃
カネボー一封度2000円
ブラウス学生服セーラ服
秋物服地と夜具地　入荷
夜具の手入……フトン綿
化粧品柳屋メヌマ ジユジユパピリオ　80円
菓子切手葉書印紙たばこ
ちどりフトン綿、夜具地
經費をかけずに良い品安く

外科　放射線科
結核予防法指定病院
労災保険指定病院
船員保険医
健康保険医
松田病院
（看護婦募集）
小名濱駅前通り